

はじめに

皆さんは楽しい学生生活を送っていますか。一年生の皆さんも、夏休みを過ごして秋も半ばになると、入学時とは違った見方もできるようになるでしょう。授業は皆さんの予想どおりですか。サークルでは希望どおりの活動ができていますか。学年が上がると、就職や卒論の準備が気になりますね。

学生生活には楽しいことばかりではなく、心配も不安もあるはずです。人生とはそんなもの、学生生活もまたしかり、と言ってしまうばそれまでですが、私たち早稲田大学の全教職員は、学生の皆さんが充実した学生生活を送れるように努力しています。そこで今年度も「学生生活調査」を実施し、早大生の全体像が表われた結果をこの『2006年度第25回学生生活調査報告書』にまとめました。アンケートに協力していただいた皆さん、どうもありがとうございました。

今年度の特徴は、第3章後半に掲載されている「学習スキル」に関しての調査です。皆さんが早稲田大学の持っている教育的資産をどのように利用しているか、また、皆さんが早稲田で学んで良かったと実感するためには、教職員はどのような工夫が必要なのか。私たちに考えさせてください。

これまでの調査結果は、学生生活の向上に活かされています。昨年度の皆さんの声は、学生窓口対応を考え直す全学的動きのきっかけとなりました。早稲田大学全体のために、これからもぜひご協力ください。

資料の分析と執筆は、理工学術院 永田靖（1章）、商学学術院 坂野慎哉（2章）、文学学術院 沖清豪（3章）、社会科学総合学術院 篠田徹（4章）、人間科学学術院 嶋田洋徳（5章）の各先生にお願いしました。調査結果と全体の取りまとめには、上述の永田先生にご協力いただきました。末筆ではありますが、心より御礼を申し上げます。

2006年10月21日

学生部長 岩井方男